

平成 18 年 8 月 23 日

「アジアの発展に役立つ原子力を考える」講演会開催のご案内

社団法人 日本原子力産業協会は、文部科学省から委託を受け、10 月 6 日(金)午後 2 時から、福井県国際交流会館で、アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の活動等をご紹介する「アジアの発展に役立つ原子力を考える」講演会を開催いたします。近隣アジア諸国の原子力平和利用活動を理解する良い機会であると共に、福井県が策定した「エネルギー研究開発拠点化計画」の推進にも寄与するものと考えております。別紙をご高覧の上、広くご案内いただくと共に取材をいただければ幸いに存じます。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

21 世紀は「アジアの時代」と言われています。世界の人口の約 6 割が集中するアジアは急速な経済発展期にあり、国民の福祉や生活水準の向上をめざし、農業生産の増大、産業の振興、保健・健康の増進に積極的に取り組んでいます。なかでも、中国、韓国、アセアン諸国を中心とする近隣アジア諸国は、経済発展に伴いエネルギー需要の拡大が予想され、エネルギー確保とともに技術開発や地球環境保全が重要な課題となっています。

アジアの持続可能な発展にとって、原子力技術の利用促進は不可欠な要素となっています。原子力は、エネルギーとしての利用のほか、医学診断や放射線治療、農作物の品種改良、放射線滅菌技術によるバイオ肥料、食品照射利用など、幅広い分野で利用可能でありアジア各国においてもその利用は着実に進んでいます。

日本は、放射線・アイソトープ利用分野を中心に近隣アジア諸国との国際協力を展開しています。政府主導による「アジア原子力協力フォーラム(FNCA)」体制の下、原子力技術の平和利用と安全確保を目的に様々な分野でプロジェクト活動を推進し、社会・経済的発展への貢献をめざしています。

日本原子力産業協会は、文部科学省の委託を受け、本年度これまでの FNCA 活動の成果や情報を中心に、各界でご活躍中の専門家からアジアの原子力・放射線利用の現状や将来展望をご紹介いただく「アジアの発展に役立つ原子力を考える」講演会を福井において開催いたします。本講演会では、福井大学が国際交流を重視し、アジアからの留学生受入れに力を入れている状況なども紹介する予定です。また、本講演会が福井県が策定した「エネルギー研究開発拠点化計画」の推進にも寄与するものと考えております。この機会に多くの方々にご来場賜り、アジアの原子力技術利用に関する理解を深めていただければ幸いです。ご多用中とは存じますが、多数お誘い合わせの上、ご来場下さいますようご案内申し上げます。

=====

本件お問い合わせ先

(社)日本原子力産業協会 国際・産業基盤強化本部 福本、高橋

〒105-8605 東京都港区新橋 2-1-3 新橋富士ビル

TEL:03(6812)7104 FAX:03(6812)7110 e-mail:koenkai2006@jaif.or.jp

ホームページ: <http://www.jaif.jp/> <http://www.fnca.jp/>

「アジアの発展に役立つ原子力を考える」講演会

1. 日 時：平成18年10月6日（金） 午後2時～5時20分
2. 場 所：福井県国際交流会館 2階 第1、2会議室
〒910-0004 福井市宝永3丁目1-1 電話：0776-28-8800
3. 主 催：文部科学省
4. 事務局：（社）日本原子力産業協会
5. 参加費：無料（次頁の申し込み用紙または電子メールにより、事前申し込みが必要です。会場の定員になり次第締め切らせて頂きます）

～プログラム～

[講演]

- ①アジアの持続的発展と原子力の役割 —日本の貢献とFNCA—
町 末男 原子力委員会委員、FNCA日本コーディネーター
- ②福井大学の国際交流とアジア協力
児嶋眞平 福井大学学長
- ③「がん」が増えているアジア諸国で放射線治療を役立てる
辻井博彦 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター長
- ④巨大な人口を抱えるアジアの食糧を供給する農業と放射線育種
中川 仁 農業生物資源研究所 放射線育種場長

[パネル討論]

テーマ：科学技術分野におけるアジア諸国と福井県の交流を活発に

司 会：町 末男

パネリスト：児嶋眞平、辻井博彦、中川 仁、橋詰 武宏(仁愛大学人間学部コミュニケーション学科教授)、イルワン(福井大学工学研究科博士課程、マレーシア)、郭登極(福井大学工学研究科博士課程、中国)



社団法人 日本原子力産業協会とは

日本原子力産業協会(略称:原産協会、会長：今井敬・日本経済団体連合会名誉会長)の前身である日本原子力産業会議は、昭和31(1956)年3月1日に民間唯一の原子力総合団体として設立された。原子力の総合的な調査研究、知識の交流、意見の調整統一をはかるとともに、政府の行う原子力開発利用計画の樹立に協力して、原子力の平和利用を促進し、わが国の国民経済と福祉社会の健全な発展向上に資することを目的として、多面的な活動を展開している公益法人である。国内では、会員として約480法人(企業、団体、研究開発機関、地方公共団体、報道機関等)が参画している。原産はこの目的を達成するために、①原子力開発への国民合意の形成、②政府国会への建議要望提言、③国際協力、④内外の総合的な調査研究、⑤内外情報の提供、⑥原産年次大会、⑦原子力に関する知識の普及、⑧会員相互の連絡提携——などの活動を行っている。平成18年4月1日に、政策提言、規制対応、情報発信を事業の重点とすることを掲げ、名称を日本原子力産業協会に変更した。

「アジアの発展に役立つ原子力を考える」講演会

お申込み用紙

(社) 日本原子力産業協会
事務局担当：小林景子 行

FAX： 03-6812-7110 (電子メール：koenkai2006@jaif.or.jp)

お名前	
ご住所	
FAX または 電子メールアドレス	

※お申し込みは、上記内容をご記入の上、9月25日(月)までに日本原子力産業協会宛 FAX または電子メールにてお申し込みください。

※個人情報保護法に基づき、ご記入頂きました内容については、関係業務の事務処理上、必要な場合に限り使用します。



会場のご案内 (福井県国際交流会館)

●会場までの地図

- ※ JR福井駅から徒歩10分
- ※ 福井I.C.から車で15分

